

## 一般質問通告書

東村山市議会会議規則第62条第2項に基づき、下記の通り  
一般質問の通告をする。

2013年8月23日

質問者 矢野穂積 1

東村山市議会議長殿

1	<p style="text-align: center;">市長の差別意識を問う</p> <p>① 6月6日の本会議において市長は、「この間こういった非行事件を起こしている職員の一部には、精神的にちょっと問題を抱えているケースが多い」とか「こういった精神的なメンタル系の疾患を抱えている職員」とか「ハードドリンクに至る場合には、やはり何らかの精神上、メンタル上の問題を抱え込んでいるケースが多いと伺っております」などという断定表現で、非違行為をした職員の一部には、「精神的にちょっと問題を抱えているケースが多い」と決め付けているが、市長がこの答弁の中で指摘した合計4件のうち、どの非違行為をした職員を批評して「精神的にちょっと問題を抱えているケース」だということなのか</p> <p>② 「非行事件を起こしている職員の一部には、精神的にちょっと問題を抱えているケースが多い」といっており、「ケースが多い」と発言しているところをみると単にひとつの例があったというのではなく「複数の事例」があると聞こえるが、市長が「多い」という具体的な「ケース」を明らかに</p> <p>③ 市長は「精神的なメンタル系の疾患を抱えている職員」と具体的に断定表現をしているが、「精神的なメンタル系の疾患を抱えている職員」とは具体的にどのような疾患の職員か</p> <p>④ 市長は「精神的なメンタル系の疾患を抱えている職員」とであると特定職員個人を決めつけているが、職員個人にとってどのような疾病に罹患しているかは、第1級の個人情報でありとりわけ「精神的なメンタル系の疾患」という場合には、本人の同意がなければ公表することは許されないが、市長は、当該職員らに同意はとったのか</p> <p>⑤ 同意を取ってない場合、当該職員の個人情報を勝手に公表する権限を市長は持っているのか</p> <p>⑥ 市長の当該行為に名誉毀損の問題がすでに発生しているのではないか</p> <p>⑦ 市長は、非違行為をした職員には「精神的にちょっと問題を抱えている」という自己責任があるとしているが、むしろ職員の個人的責任の問題だとしている市長を含めた管理職員との関係に根本原因があるといわざるをえないが、自覚はあるか</p> <p>⑧ 市長は、「専門家も交えながら、日ごろからケアをする」と発言しているが、この6月6日以降どのようなケアをしたか</p> <p>⑨ 市長は「ハードドリンクにいたる場合には、やはり何らかの精神上、メンタル上の問題を抱え込んでいるケースが多いと伺っております」と発言しているが、アルコール依存症であることを言いたいのか、具体的に何を指摘したのか</p> <p>⑩ 4件の関係職員について、何を根拠に、アルコール依存症であるというのか、</p> <p>⑪ アルコール依存症でなければ、何を指摘したのか</p>
	小括

2	グリーンボランティアと鯉とカルガモ
小括	<p>① カルガモが東口噴水に飛来し子育てするようになって5年になるが、この間の経過をどのように把握しているか</p> <p>② 今年は子カモが3羽巣立ちする見込みだが、市はどのようにかかわったか</p> <p>③ 今年、カルガモを北山公園に強制移転させようとしたが、親ガモの抵抗で結局断念した経過があるが、どうして野性動物の習性を無視してこのような愚を行ったか経過を問う</p> <p>④ 一部に駅東口で、盆踊りなどのイベントができないので、カルカモを追放しようという考えがあるというが、盆踊りの会場は他に探すことができるが、カルガモを無理に連れてくることはできない、どのように把握しているか</p> <p>⑤ すでに女性を中心に、東口のカルガモを、カラスや猫から守るために、工夫し早朝に自主的に当番を決めてえさなども運んだりしているが、この人たちをグリーンボランティアとして受け入れ、話し合いなどして所管も最大限協力すべきではないか</p> <p>⑥ カルガモを追放するために、女性たちを中心としたボランティアに対して、カルガモの世話をするのをやめるよう圧力を加えたと聞くが、実態はどうなっているか</p> <p>⑦ 久米川ボウリング場そばの野火止用水で鯉などを飼育している方がいるが、鯉を飼育して売却するなど私的利益を図るような行為をしているのか</p> <p>⑧ 鯉をも持ち去るのはやめるよう立て札を立てているが、この立て札に参院選以降自民党の安部晋三首相の顔写真のポスターを現在まで貼り付けているが、公の施設にこのような行為をみとめていいのか</p> <p>⑨ 私的利益をはかるのでなければ、鯉を飼育し、市民全体で楽しむこともこの人たちをグリーンボランティアとして受け入れるべきではないか</p> <p>⑩ 市民からの声は</p>